

いぶき GOSAT

温室効果ガス観測技術衛星

『いぶき』(GOSAT)

ゴ-サット

GOSAT プロジェクトは地球温暖化防止に大きく貢献することを目的としたミッションです。

太陽電池パドルの2翼化

「いぶき」は「タフな衛星！」設計思想がスゴイ！

今までの人工衛星は、部品(パーツ)はなるべく少なくシンプルに設計・開発されてきましたが、ひとつのパーツの故障がミッション全体に大きく影響するという問題がありました。

そこで、GOSAT プロジェクトでは重要なパーツを2段構えて構成することにしました。そうすれば、もし片方に何かあってもミッションの継続が可能です。

「いぶき」では、これを徹底的に追求しました。

「いぶき」は約100分で地球を1周しながら、3日間で地球表面のほぼ全体にわたる温室効果ガスを計測します。そのため地上や航空機での観測に比べて圧倒的に数多くの地点のデータを取得することが出来ます。その数、なんと5万6000点！このため世界各地の温室効果ガスの増減を高い精度で算出することが出来るのです。

温室効果ガス観測センサ

世界最高性能を実現！センサがスゴイ！

二酸化炭素の増減量はとてもわずか。地上から666キロメートル離れた上空から観測するために、「いぶき」が搭載する温室効果ガス観測センサは最新技術の結晶とも言える性能を実現しました。

「いぶき」は「タフな衛星！」設計思想がスゴイ！